

# 東広島市音楽のまちづくり構想

音楽で つながる 広がる 東広島市

## 1 構想の趣旨

東広島市では、本市を取り巻く社会経済情勢が、人口減少や少子高齢化をはじめグローバル化や環境問題などにより大きく変化する中、市民の生活意識や価値観が多様化しています。また、ライフスタイルの変化や余暇時間の増大を背景に、市民の文化芸術への関心が高まり、身近で質の高い優れた文化芸術を鑑賞できる機会や、自らも幅広い文化芸術活動に参加し活動の成果を発表できる場の提供が求められています。

一方で、これまでの急速な都市の成長に伴う人口増加や周辺町との合併により、市民が一体となったまちづくりや、近年の地域共同体に対する帰属意識の低下など、新しいコミュニティ問題にも取り組んでいく必要があります。

東広島市音楽のまちづくり構想は、文化芸術は人間として生きるために不可欠なものであり、社会・経済発展のための創造性の源泉であることを踏まえ、音楽を起点とする市民の多様な文化芸術活動により、市民が日々の暮らしの中に潤いや生きがいを見出し、心豊かな生活を過ごすことができる東広島市のまちづくりを進めるための指針を示したものです。

## 2 基本理念

音楽をはじめとした文化芸術を楽しむことで人と人が出会い、交流の輪が広がるまちづくりを進めます。

音楽をはじめとした文化芸術を尊重し、次世代への発展・継承を進めます。

「音楽」を「酒」、「学園都市」につづく東広島市のブランド（誇り）として育むまちづくりを進めます。

## 3 音楽のまちづくりの展開

音楽のまちづくりを進めるにあたっては、次の3つの視点から展開していくことが求められます。

(1) 音楽を聴く人、演奏する人を増やす

子どもからお年寄りまで、多くの人が音楽に興味を持っていただくことが重要です。

そのためには、多様な音楽を気軽に体験でき、市民の生活に音楽文化が溶け込むように、鑑賞機会の充実や創造活動を展開させるとともに、次世代を担う青少年の創造性と豊かな感性を育むための施策を実施する必要があります。

(2) 音楽のまちづくりを推進する輪を広げていく

市民をはじめ、産学官が連携して音楽のまちづくりを進める必要があります。そのためには、音楽のまちづくりを推進する体制の構築が求められます。

音楽によって地域コミュニティの結びつきを強め、地域間、世代間等の交流が生まれることが期待できます。また、音楽を楽しむ市民やアーティストの交流を推進し、ネットワークを構築することで市内外の音楽活動状況や音楽団体などの情報が共有できます。

(3) 音楽を楽しむ環境を充実させる

音楽がまちにあふれるよう既存の公共施設・公共空間・民間施設等の利用を活性化する必要があります。また、音楽を鑑賞し、練習し、演奏ができる文化施設、人と情報が集まり出会いと感動が生まれる文化施設、そして、世界の音楽文化を広く受容しながら東広島市独自の音楽文化を創出し、情報発信する拠点としての文化施設の整備が求められます。

平成21年10月13日

東広島市音楽のまちづくり構想検討委員会

委員長 岸田正之